

復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前

1

次の問題を解きなさい。

田中さんは、国語の授業で「将来の夢」というテーマでスピーチをすることになりました。田中さんのスピーチと、それを聞いた後の渡辺さんと伊藤さんの感想を読み、あとの問いに答えなさい。

レベル9～11

私の将来の夢は、英語の通訳になることが夢です。外国の人が日本に来たときに私が日本語を訳して伝えたいと思っています。

私は小学生のときに父親の仕事の都合でアメリカに住んでいました。初めは英語が全く分からず、友達もできず、さびしい毎日を送っていました。私の様子を見かねたクラスメイトのケイティが笑顔で「コンニチハ。」と話しかけてくれました。ケイティの祖母は日本人でした。ケイティは私のために祖母に日本語を教わり、私に声を掛けてくれたのです。ケイティとは、しばらくは「コンニチハ!」「Hello!」のあいさつのやり取りだけでしたが、徐々に私が英語を理解するようになり、会話ができるようになりました。そして、ケイティの思いやりに感謝した私は将来通訳という仕事に就きたいと考えました。私のように英語が理解できずにさびしい思いをしていたり、英語は苦手だけれど世界のことを知りたいと思ったりしている人の手助けをしたいと思ったのです。そういった人たちの力になることで、あのとき話しかけてくれたケイティの気持ちに恩返しをしたいと考えています。

私は今中学2年生で、英語を学んでいます。外国語の勉強は難しいし、夢を叶えられるのか、という不安もあります。しかし、あのときの「コンニチハ」に助けられた嬉しさが私を支えています。これからも努力を続け、必ず夢を叶えたいと思います。



〈渡辺さんの感想〉

スピーチの始めに自分の夢を話した後、なぜその夢を持ったのかについて経験をもとに話していたので、説得力がありました。最後に、不安に打ち勝つための心の支えについて話していたので、夢への思いの強さが印象に残りました。自分が伝えたいことを繰り返し述べるような話の組み立て方は効果的だと感じました。

〈伊藤さんの感想〉

田中さんが具体的な経験を詳しく述べていたので、なぜ通訳になりたいのかがよく伝わってきました。言葉が分からず、周りの人とコミュニケーションが取れないさびしさは私も海外旅行をしたときの経験から想像できました。その環境の中で、通訳という夢を持ち、努力を重ねている田中さんはすてきだと思いました。

【スピーチの工夫について着目した点を理解する問題】

- 1 渡辺さんと伊藤さんの感想に対して先生が述べた言葉として、最も適切なものを後の選択肢からそれぞれ一つ選びなさい。
- 1 田中さんの言葉の調子や間の取り方、話す速度に着目することができていますね。
- 2 田中さんの経験に着目し、自分の経験と結びつけて話の内容に共感することができていますね。
- 3 田中さんの言葉遣いや語句の選び方が適切かどうかを考えることができていますね。
- 4 田中さんのスピーチの構成がどのように工夫されているのかを考えることができていますね。
- 5 田中さんの考えと自分の考えとを比べて、質問したい内容を見つけることができていますね。

渡辺さんの感想について述べた言葉・・・

伊藤さんの感想について述べた言葉・・・

【文を推敲してよりよい表現にする問題】

- 1 田中さんのスピーチ原稿の一段落目には、主語述語のねじれのある文があります。その一文を正しく直して書きなさい。



復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前

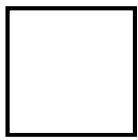
1 次の文を読んで後の問題に答えなさい。

田中さんは、生徒会による他県との交流会で、埼玉県を紹介する内容について、プレゼンテーションソフト（発表機器）を使って発表をしました。次はその【発表内容の一部】です。これらを読んで、後の問に答えなさい。

順番	スライド資料	発表原稿
1	 コバトン	私は、埼玉県のマスコット「コバトン」を紹介します。こちらの資料をご覧ください。 「コバトン」は、平成十六年に埼玉県で開催された「第五九回国民体育大会」をアピールするために一般から募集された「マスコットイメージ」から生まれました。応募総数七九五点の中から選ばれた作品はデザイン補作され、現在私たちが知っているコバトンのデザインとなったのです。
2	 小峯昇氏撮影	モチーフとなったのは、県民の鳥に指定されている「シラコバト」です。シラコバトはハト科に属し、首に黒い横線が入っているのが特徴で、主に本県の東部地域を中心に生息しています。
3	シラコバト × バトン	デザインが決まったので、今度は親しみやすい愛称を募集しました。応募総数一七四七一通の中から選ばれたのが「コバトン」でした。命名の趣旨は「彩の国まごころ国体のマスコットとしてあちこちを軽やかに飛び回る愛らしいシラコバトは、人から人へ、大会から大会へ、みんなの熱意と真心をつなぐバトンのような存在」ということでした。「シラコバト」と「バトン」をかけて「コバトン」なのです。
4	資料Aor 資料B	こうして誕生したコバトンは、国体のPR活動に奮闘し、国体を成功させるとともに、マスコットとしても人気者になりました。国体終了後、コバトンの存続を望む声がたくさん挙がり、平成十七年、正式に「埼玉県のマスコット」となったのです。コバトンは今も埼玉県、全国を飛び回り、地域を、人と人を、心と心をつなげてくれています。

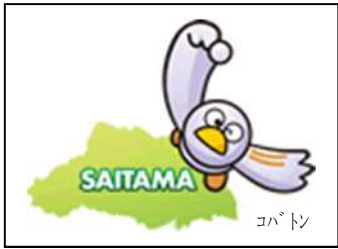
【発表の仕方を説明したものとして最も適切なものを選択する問題】レベル8～10
(1) 田中さんの発表の仕方を説明したものとして、最も適切なものを後の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 具体的な自分の体験を交えながら、発表に説得力をもたせるようにしている。
- 2 聞き手に質問を投げかけることで、足りない情報を補足しながら説明している。
- 3 発表機器で写真や話の要点を示すことで、聞き手の理解を深めようとしている。
- 4 相手の反論を想定し、それに対する反論をあらかじめ発表の中に入れていいる。



【資料を根拠にしながら自分の考えを明確に書く問題】レベル11～12
(2) 発表の4番目に使うスライド資料は、次に示す資料A・Bのどちらがよいと考えるか。後の条件1～3にしたがって書きなさい。

資料A



資料B



- 条件1 解答用紙の「私は、資料□がよいと考える。」の□にAかBの記号を入れ、文に続けて、その理由を答えること。
- 条件2 発表の順番「4」の原稿内容の言葉を入れて書くこと。
- 条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

私	は、	資	料	が	よ	い	と	考	え	る。										

復習シート 第二学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【資料を読み、自分の考えを明確にして書く問題】レベル11・12

1 次の問題を解きなさい。

中学生の佐藤さんは、国語の授業で「日本語」をテーマに、スピーチをすることになりました。普段耳にする日本語の使い方の中で、気になったことや興味を持ったことについてまとめました。佐藤さんのスピーチ原稿を読んで、あとの問いに答えなさい。

あなたは「食べられない」？「食べれない」？

佐藤 花子

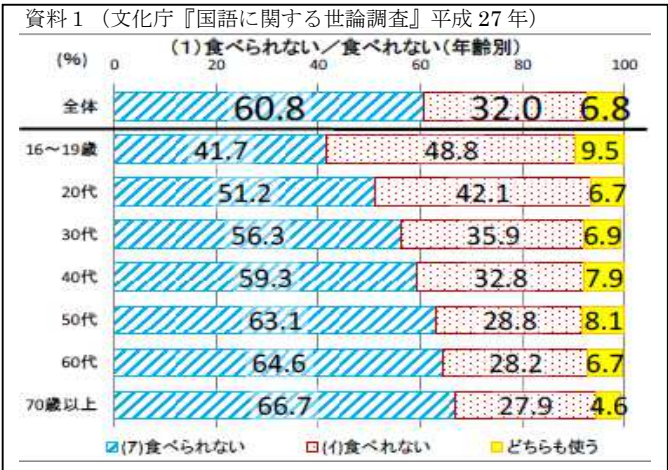
先日、自宅で「もう食べられないよ。」と言ったところ、祖母に『食べれない』ではなくて、『食べられない』が正しいよ。」と訂正されました。そういえば国語の授業で書いた作文でも担当の先生に『ら抜き言葉』はやめましょう」と指摘をされたことがあります。そこで、私が普段気がつかずにつかっている「ら抜き言葉」について調べてみようと思いました。

まず、文化庁のホームページで調べてみました。そこには、「いわゆる『ら抜き言葉』とは可能の意味の『見られる』『来られる』等を『見れる』『来れる』のように言う言い方のことで、話し言葉の世界では昭和初期から現れ、戦後更に増加したものである。（中略）しかしながら、この言い方は現時点ではなお共通語においては誤りとされ、少なくとも新聞等ではほとんど用いられていない。」とありました。

次に、どのくらいの割合の人が「ら抜き言葉」を使っているのか調べました。文化庁の平成27年国語に関する世論調査では、資料1の通り、全体では六割の人が「食べられない」を使っていました。年代別に見てみると、16歳から19歳の人の半数近くが「食べれない」を使っているが、50代以上では三割未満にとどまっていることがわかります。このことから、「食べれない」という「ら抜き言葉」を使うかどうかは、世代によって大きな違いがあることがわかりました。

私は、新聞等でもほとんど使われないということから、やはり正しい日本語を使うことが大切だと思いました。だから、「ら抜き言葉」使わないように気を付けたいと思いました。

みなさんは「ら抜き言葉」を使う人が増えていることについて、どう思いますか。みなさんの考えを



復習シート 第二学年 国語

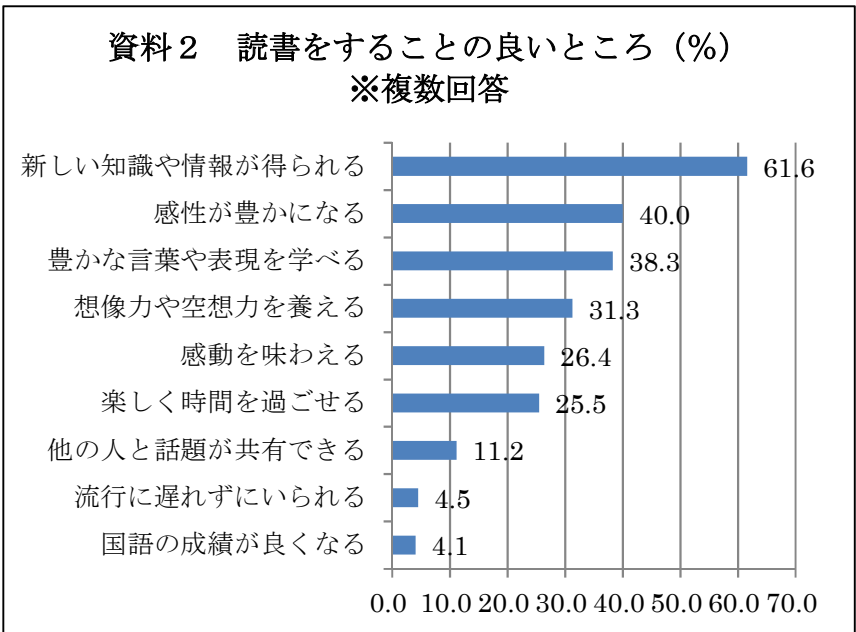
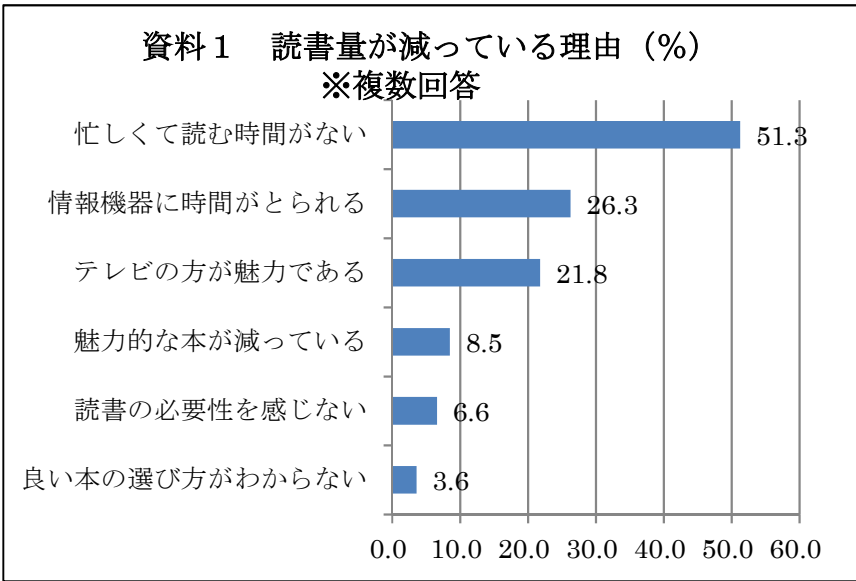


組	番号	名前

【資料を根拠としながら自分の考えを明確にして書く問題】レベル11・12

1 次の問題を解きなさい。

図書委員会で、読書をしないう人が増えていることが話題になり、読書をすることを呼びかける取組を行うことになりました。次に示すのは、A中学校における「読書量が減っている理由」「読書をすることの良いところ」についてのアンケート結果です。



(問い)

【資料1】【資料2】を見て、あなたなら図書委員として、今後読書をする人が増えるようにするために、どのようなことを「読書の良さ」として紹介していきますか。あなたの考えを明らかにした上で、その理由を次の条件1から3に従って書きなさい。

条件1 二段落構成で、七行以上、九行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、どのような「読書の良さ」を紹介していくか、考えを明確にして書くこと。

条件3 二段落目には、その理由を【資料1】【資料2】の内容に触れて、具体的に書くこと。

9行

7行

埼玉県学力学習状況調査



コバトン

復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「ここまでのあらすじ」七歳の保吉は父親と玩具屋を訪れ、店主から幻灯の映し方（ガラス板の画をスクリーンに映す機械の使い方）を聞いている。

「あのぼんやりしているのはレンズのピントを合わせさえすれば——この前にあるレンズですな。——すぐにごらんのとおり、はつきりなります。」

主人はもう一度および腰になった。と同時にしゃぼんだまはみるみる一枚の風景画に変わった。もつとも日本の風景画ではない。水路の両側に家々のそびえた、どこか西洋の風景画である。時刻はもう日の暮れに近いころであろう。三日月は右手の家々の空にかすかに光を放っている。その三日月も家々も、家々の窓の薔薇の花も、ひっそりとたたえた水の上へ鮮やかに影を落としている。人影はもちろん、見たしたところかもめ一羽浮かんでいない。水はただ突き当たりの橋の下へまっすぐにひとすじつづいている。

「イタリヤのベニスの風景でございます。」

三十年後の保吉にヴェネチアの魅力を教えたのはダンヌンチオの小説である。 A 当時の保

吉は、この家々だの水路だのにただたよりのない寂しさを感じた。彼の愛する風景は、大きい丹塗りの観音堂の前に無数の鳩の飛ぶ浅草である。あるいはまた高い時計台の下に鉄道馬車の通る銀座である。それらの風景に比べると、この家々だの水路だのは、なんと寂しさに満ちているのであろう。鉄道馬車や鳩は見えなくてもよい。せめてはむこうの橋の上に一列の汽車でも通っていたら、——ちようどうこう思ったとたんである。大きいりぼんをした少女が一人、右手に並んだ窓の一つから突然小さい顔を出したと思うと、さらにその顔をこちらへむけた。それから——遠目にも愛くるしい顔に疑う余地のないほほえみを浮かべた！が、それは掛け価のない一、二秒の間のできごとである。思わず「おや」と目を見はった時には、少女はもういつの間にか窓の中へ姿を隠したのであろう。窓はどの窓も同じように人気のない窓かけを垂らしている。……

「さあ、もう映しかたはわかっただろう？」

父の言葉は「ぼうぜん」とした彼を現実の世界へ呼びもどした。父は葉巻をくわえたまま、退屈そうに後ろにたたずんでいる。玩具屋の外の往来もあいかわらず人通りを絶たないらしい。主人も——き

れいに髪を分けた主人は小手調べをすませた手品師のように、妙に蒼白あおしろい頬のあたりへ満足の微笑をただよわせている。保吉は急にこの B を一刻も早く彼の部屋へ持って帰りたいと思いだした。

……

保吉はその晩父といっしよに蟬せみを引いた布の上へ、もう一度ヴェネチアの風景を映した。中空の三日月、両側の家々、家々の窓の薔薇の花を映したひとすじの水路の水の光、——それは皆前に見たとおりである。が、あの愛くるしい少女だけはどうしたのか今度は顔を出さない。窓という窓はいつまでも待っても、だらりと下がった窓かけの後ろに家々の秘密を封じている。保吉はどうとう待ち遠しさにたえかね、ランプの具合などを気にしていた父へ歎願たんがんするように話しかけた。

「あの女の子はどうして出ないの？」

「女の子？どこかに女の子がいるのかい？」

父は保吉の問いの意味さえ、はっきりわからない様子である。

「ううん、いはしないけれども、顔だけ窓から出したじゃないの？」

「いつさ？」

「玩具屋の壁へ映した時に。」

「あの時も女の子なんぞは出やしないさ。」

「だって顔を出したのが見えたんだもの。」

「何を言っている。」

父はなんと思つたか保吉の額へ手のひらをやった。それから急に保吉にもつけ景気けいきとわかる大越を出した。

「さあ、今度は何を映そう？」

けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。窓は薄明るい水路の水に静かな窓かけを映している。しかしいつかはどこかの窓から、大きいリボンをした少女が一人、突然顔をださぬものでもない。——彼はこう考えると、名状なじょうのできぬなつかしさを感じた。同時に従来知らなかった、あるうれしい悲しさをも感じた。あの画の幻灯の中にちらりと顔を出した少女は、じつさい何か超自然の霊が彼の目に姿を現あらわしたのであるうか？あるいはまた少年に起こりやすい幻覚の一種にすぎなかったのであるうか？それはもちろん彼自身にも解決できないのにちがいない。

(芥川龍之介「少年」による。)

(注1) ベニスⅡヴェネチア。イタリア北東部に位置する都市。「水の都」の別名をもつ。

(注2) ダンヌンチオⅡイタリアの詩人、小説家、劇作家。

(注3) 丹塗りⅡ赤または朱色に塗ってあること。また、塗ってあるもの。

(注4) 歎願Ⅱ事情を述べて心に願うこと。

(注5) つけ景気Ⅱ実際はそうではないのに景気がよいように見せかけること。

(注6) 名状のできぬⅡ言葉で言い表すことができない。

(1) **A**にあてはまる言葉を、あとのア～エの中から一つ選び、記号に丸を付けなさい。
レベル6・7

ア だから イ けれども ウ そして エ また

(2) ——— 線部①「ぼうぜんとした彼」とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号に丸を付けなさい。
レベル7～9

ア レンズのピントが合わないから。

イ 少女が突然小さな顔を出したから。

ウ 父が退屈そうに後ろにたたずんでいるから。

エ ヴェネチアの風景が映ったから。

(3) **B**にあてはまる言葉を、漢字二字で書きなさい。

レベル7～9



復習シート 第三学年 国語

組	番号	名前

【読むことの問題】

- 1 次の文章は、A君が国語の授業で「海の誕生」について調べて書いた文章です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔一〕私たちの住む日本は海に囲まれている。海は、私たちに魚介類など食材として恵みを与えたり、美しい景色など心の恵みを与えてくれたり、海水浴などの娯楽をあたえてくれたりする。海とは、人間の生活にとって切っても切れない関係にある。では、海とはいったいどのようなもので、どのようにして誕生したのだろうか。

〔二〕海の起源を探るには、海がどのような性質のものかを知っておく必要がある。海とは星に存在するものの中で、特異なものである。

〔三〕海とは、地球の表面の陸地以外の部分で、海水で満たされた一つながりの地域のことをいう。海は、地球の地表のおよそ七割を占めている。また、海の平均的な深さは、富士山の高さと同じくらいといわれている。

〔四〕その海が誕生したのは、①地球の誕生から八億年ほど経った頃だとされている。その頃の地球は、マグマの海に覆われていた。大気中には大量の二酸化炭素が存在し、気温はいまの地球と比べ、非常に高かった。そのため、水分は蒸発し、水蒸気（ H_2O ）として大気中に存在し、上空では冷やされて分厚い雲として存在していた。

〔五〕その時代に、地球のまわりにあった微惑星は衝突と吸収を繰り返すなどして次第に数が減っていった。熱を生み出すきっかけであった微惑星の衝突が減ることで、高温だった地球の気温も下がり、溶岩も冷やされていった。徐々に気温が下がったことで、水蒸気として空気中に溶けていた水は、雨となって大量に降り続けた。その状況が続き、やがて水が地表に流れ、その水がたまることで海が誕生したのである。

〔六〕海の誕生をめぐっては、謎がある。なぜ海の水は凍ったり、蒸発してなくなったりしないのかということである。多くの研究者達は、そのことを考えるため、他の星の温度を調べることにした。そして、地球に最も近い星である月に目を向けたのである。月の気温は地球と比べ、どのような違いがあるのか。

【七】月の表面の温度を調べて分かったことは、月は日の当たるときと、当たらないときでは、およそ三百度もの差があるということだ。これだけの差があると、仮に月に水分があった場合、昼間は燃えるような熱さで百十度まで上がり蒸発してしまう。（A）月の表面は、夜になるとマイナス百七十度まで下がり、水は凍ってしまふ。このようなことは、月からさほど離れていない地球上でも起こらないのだろうか。

【八】星の性質上、地球は、大気で覆われているため、大きな寒暖差があったとしても、その差が百度を超えるようなことはない。海が存在するためには、地球が、そういう位置に存在することこそがとても重要なのである。地球があと少し太陽に近ければ、海は太陽の熱を受け、すべて蒸発していたかもしれない。地球の存在する位置こそが、まさに奇跡であるのだ。

【九】また、大気に穴を開けるために衝突が何度かあったことも大きい。地球は、分厚い大気の層に包まれていたので、熱を地球の表面にためていた。しかし、星の衝突によって大気に穴が開き、熱が外に流れ出たと考えられている。熱が流出することで、地球の表面の温度が冷えたのである。もしも、地表の熱がこもつたままであれば、海は誕生しなかった。地表の熱い地球を想像できるだろうか。宇宙に浮かぶ、茶色い地球。そこには、命は誕生しなかったかもしれない。

【十】海が存在する星、地球。海が存在するのは、地球が「ちようどよい」ところにあったことに起因する。地球と太陽の距離は、海の誕生には「ちようどよい」距離だったのである。星の衝突は、月の組成に関わりがあるだけでなく、図らずも海を生んだことにもなったのだ。私たちは、地球の誕生について多くの仮説を立て、検証する価値があると考えているが、海の誕生について考えることも、地球の誕生をよりドラマチックに捉え直す機会を与えてくれる。様々な研究がすすむにつれて、地球がいまの位置にあることの重みも感じさせてくれる。

【十一】私たちの身近にある海が、どんな存在であるか、理解してもらえただろうか。②海が誕生した背景は奇跡と偶然に満ちている。そのような特徴をもつ海の誕生は、地球の歴史の中で一つの転換期であったと考えられなくはない。今後、他の星で海が発見され、地球と同じような歴史をたどる星が発見されるかも知れない。その可能性がわずかでもある限り、探索は今日も続いていく。

【十二】海を見るとときには、思い出してほしい。今から約三十八億年前、地球を覆う大きな雲より流れ出た大河が、海を誕生させたということ。海が違って見えるだろう。

〔基礎用語〕

大気：地球の表面を層状におおっている気体のこと。地球の引力により、地球の表面にとどまっている。

問一 本文中（A）に当てはまる語を次から選びなさい。

レベル8～10

ア しかし イ つまり ウ ところで エ さらに

問二 傍線部①「地球の誕生から八億年ほど経った頃」とあるが、「地球の誕生」は、何億年前だと考えられるか。本文中の内容から考えて、漢数字で答えなさい。

レベル9～11

億年前

問三 傍線部②「海が誕生した背景は奇跡と偶然に満ちている。」とあるが、それはどんな考え方であるか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

レベル9～11

- ア 海は、太陽と地球の距離によって誕生したという考え。
- イ 地球上に海が存在するのは、太陽の温度によるという考え。
- ウ 太陽と地球の距離は、あらかじめ定められていたという考え。
- エ 地球と月は、ちょうどよいところに存在していたという考え。

問四 段落①を要約した文として、最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

レベル9～11

- ア 修学旅行でも分かったとおり、日本は海に囲まれている国である。
- イ 私たちの生活と関係が深い海はどのようなようにして誕生したのか。
- ウ 私たちが毎日食べている食材は海から運ばれてくる。
- エ 私たちの生活は海とともにあり、人間にとって海は切っても切れない関係にある。



復習シート 第三学年 国語



組
番号
名前

【品詞の分類・活用形・文節に関する問題】

1 次の各問いに答えなさい。 **レベル8～10**

(1) 次の の文の 線部と〈活用の種類〉と〈活用形〉が同じ動詞を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

明日、公園に行きます。

- ア 質問に答えない。
- イ 図書館の中は静かでした。
- ウ 遠くから友達が来る。
- エ 先生に理由を話した。

(2) 次の文を文節に区切ると、いくつの文節になりますか。あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。 **レベル11・12**

中庭の花だんにきれいなバラの花がたくさん咲いている。

- ア 五
- イ 六
- ウ 七
- エ 八

【同音異義語の中から文脈に合うものを選択する問題】

2 次の文の 線部のカタカナを漢字で書く場合、正しいものを () の中からそれぞれ一つ選び、記号に○を付けなさい。 **レベル8～10**

- (1) 会場をイドウする。 (ア 異動 イ 移動 ウ 異同)
- (2) 朝食をとるシュウカンをつける。 (ア 週刊 イ 週間 ウ 習慣)

【古文の内容を読み取り、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題】

3 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。 **レベル8～10**

仁和寺にある法師、年寄るまで、石清水を拝まざりければ、心うく覚えて、あるとき^①思ひ立ちて、ただ一人、かちより詣でけり。極楽寺・高良などを拝みて、かばかりと心得て帰りにけり。

さて、^②かたへの人にあひて、「年ごろ思ひつること、果たしはべりぬ。聞きしにもすぎて、尊くこそ^③おはしけれ。そも、参りたる人ごとに山へ登りしは、なにごとかありけん、ゆかしかりしかど、神へ参るこそ本意なれと思ひて、山までは見ず。」とぞ言ひける。
少しのことにも、先達は^④あらまほしきことなり。(兼好法師『徒然草』第五十二段)

(1) 線部①「思ひ立ちて」②「かたへ」③「おはしけれ」を現代仮名遣いに直し、
全てひらがなで書きなさい。

①

②

③

(2) 線部④「あらまほしき」の意味を次から一つ選び、記号に丸を付けなさい。
ア ありがたい イ あってほしい ウ わかってほしい エ あたらしい